

54 文化・生涯学習・スポーツの振興

(1) 区民の文化芸術・生涯学習活動を支援する

●文化芸術・生涯学習施策の推進

『ビジョン』に基づき、区の魅力的な文化の掘り起こしや一流の音楽家・芸術家などによる本格イベントの開催など、文化芸術および生涯学習施策のさまざまな取組を進めている。

●文化芸術の振興に関する事業

身近に文化芸術に触れる機会を提供するため、「絵画展示」と「野外彫刻設置」の2つの事業を行っている。

また、地域の魅力を高めるため、区ならではの文化芸術事業を実施している。7年度は、つぎの事業を実施した。

- ・真夏の音楽会
- ・こどもアートアドベンチャー
- ・みどりの風 練馬薪能
- ・ねりまの森の音楽祭

●映像∞文化施策の推進

区では昭和初期から現在に至るまで実写・アニメを問わず映像を作る環境が整っている。こうした状況を背景に、3年11月に「映像∞文化のまち構想」を策定し、区と映像のつながりや映画の魅力を伝える様々な事業を実施した。

1 映画上映会

ねりまの森の音楽祭と同日に映画上映会「ねりぶんシネマ day」を開催し、音楽映画「四月は君の嘘」を上映した。

2 映像文化と教育の連携事業の実施

区内の小・中学校において、映像制作等の体験授業を実施している。7年度は15校で延べ17授業を実施した。

3 映像文化情報の発信

- (1) ねりま映画サロンの配信
日本を代表する俳優による対談動画（第1～6弾）をオンライン配信した。
- (2) ウェブサイト「映像∞文化のまちねりま」
上記対談動画やインタビュー、年表、コラムなど、練馬と映像文化の理解が深まる様々なコンテンツを公開した。

4 ねりま漫画サロンの実施



〔サイトメインビジュアル〕

多くの漫画家が在住している区の特徴を活かし、トークショーやワークショップ、複製原画の展示など、区ゆかりの漫画家と連携したイベントを実施した。

●公益財団法人練馬区文化振興協会

豊かな区民文化の創造と多様な文化の発展に寄与することを目的に、昭和57年9月に財団法人として設立し、その後平成24年4月に公益財団法人に移行した。

地域における自主的な文化芸術活動を促進し、また文化芸術の裾野を広げるため、区内文化団体への活動支援を行うとともに、区民に向けて情報を広く発信している。

練馬文化センター、大泉学園ホール、美術館および石神井公園ふるさと文化館の指定管理者として、魅力ある文化芸術事業の充実に取り組んでいる。

●練馬文化センター

区の文化芸術拠点として区民文化の創造と発展に寄与するため、昭和58年4月に開館した。

7年度は、音楽・伝統芸能などの公演事業、区民の文化芸術活動・団体の支援などを引き続き実施した。
(11事業)

1 公演事業

(1) 音楽事業

- ①クラシックコンサート
- ②アトリウムミニステージ
- ③拠点コンサート

(2) 伝統文化事業

- ①能楽公演
- ②能楽講座
- ③小学校狂言師・能楽師派遣事業

2 区民の文化芸術活動・団体の支援に係る事業

- (1) 演奏家等派遣事業
- (2) 舞台芸術支援事業 など

〔練馬文化センターの利用状況〕 7年度

	利用件数（件）（※）	入場者数（人）
大ホール	324	254,107
小ホール	318	87,648
ギャラリー	81	4,534
リハーサル室	1,310	34,318
集会室	607	9,935
計	2,640	390,542

※：延べ利用団体件数

●大泉学園ホール（大泉学園ゆめりあホール）

区民文化の創造と発展に寄与するため、大泉学園駅北口再開発ビル「ゆめりあ1」内に、平成14年2月に開館した。

〔大泉学園ホールの利用状況〕 7年度

	利用件数（件）（※）	入場者数（人）
ホール	510	45,769
ギャラリー	135	10,383
計	645	56,152

※：延べ利用団体件数

●練馬区立美術館

区民の美術に関する知識および教養の向上を図り、区民文化の発展に寄与することを目的に、昭和60年10月に開館した。

美術に関する学識経験者等により構成する美術館運営協議会を設置し、幅広い意見を反映した活動を行っている。

美術館の再整備については、基本構想策定検討委員会の提言をもとに、区民意見反映制度に寄せられた意見等を踏まえ、4年3月に基本構想を策定し、8年1月に実施設計が終了した。

あわせて、7年4月から12月まで、概算工事費や仕様等の妥当性を検証するとともに、工事工程・工法等の検討により事業費の適正化と円滑な事業の実施を図るため、コンストラクション・マネジメントを実施した。その一環として行った建設業界へのヒアリング調査等で、予定の工期では事業者確保の見通しが立たず、本体工事契約の不調リスクが極めて高いとされたことから、7年9月に着工見送りを判断した。

1 展示事業

日本近現代美術を中心に、斬新な視点・切り口で開館以来様々な展覧会を開催している。また、地域に根差した美術館として、区内在住の美術家協会会員の作品を紹介する「練馬区美術家協会展」や、区民の公募作品による「練馬区民美術展」を開催している。

〔企画展〕 7年度

展覧会名	会 期	観覧者数（人）
アートマルシェ2025 「身体で感じる緑とアート」展	9月10日（水） ～9月28日（日） （17日間）	3,710
「ねり美・ふる文コラボ企画 もっと浮世絵で行こ！ 幕末明治の暮らし、娯楽、 事件…」展	1月25日（日） ～3月8日（日） （37日間）	10,124

2 教育普及事業

展覧会関連の企画を中心に各種講座やワークショップを実施している。また、「スクールプログラム」による団体鑑賞等の受入れ、小・中学校の教員を対象に学芸員が作品解説を行う「ティーチャーズデイ」の実施、鑑賞学習教材の貸出しなど、学校との連携を深めている。

3 美術作品の収集

区にゆかりのある優れた作品の収集を行うとともに、幅広い視野から近現代の優れた美術作品を収集している。7年度末の全所蔵数（寄託含む）は8,178点である。

4 美術の森緑地

平成27年3月に美術館の前庭にあたる緑地をリニューアルし、動物彫刻等32体を野外展示している。

●石神井公園ふるさと文化館

区の伝統文化を生かし、新たな地域文化を創造するため、観光振興にも寄与する博物館機能を有する施設として、平成22年3月に開館した。

また、隣接公園内に「旧内田家住宅」（区指定文化財）を移築復元し、建物内部も公開している。

26年4月1日に石神井松の風文化公園管理棟内に分室を設置した。

館の事業には区民サポーター80人が携わり、区民と館を結ぶ役割を担う存在として活動している。7年度は分室を含め延べ202,927人が来館した。

1 展示事業

(1) 常設展

「江戸・東京近郊の暮らし」をテーマに、練馬区の歴史・民俗・伝統文化の特色を伝える展示を行っている。分室では、練馬区ゆかりの文化人に関する展示事業と作家・五味康祐氏が愛用したオーディオの展示などを行っている。

(2) 特別展

区の歴史などのほか、幅広い視野からテーマを設定した特別展を7年度は2回開催した。

〔特別展〕		7年度
展覧会名	会 期	観覧者数 (人)
練馬とアニメーション アニメ製作のいまむかし	6月21日 ～8月11日 (45日間)	5,263
昭和100年 日常の風景 ー太田隆司ペーパーアートの世界ー	9月13日 ～11月3日 (45日間)	6,432

(3) 企画展

収蔵資料などからテーマを決めた企画展を7年度は2回開催した。

〔企画展〕		7年度
展覧会名	会 期	観覧者数 (人)
武蔵野鉄道開通110周年 ー西武池袋線と沿線のあゆみー	4月12日 ～6月8日 (50日間)	9,468
「ねり美・ふる文コラボ企画 もっと浮世絵で行こ！ 幕末明治の暮らし、娯楽、 事件…」展	1月25日 ～3月8日 (37日間)	10,124

(4) わがまち練馬情報コーナー 1・2

区内の自然・名所や、伝統工芸、ねりコレなどの産業情報、区民の創作作品を展示、紹介している。

2 教育普及事業

区の歴史・民俗・伝統文化等に関する講座、季節体験事業などを実施している。分室では、貴重なオーディオを用いて、さまざまなイベントを開催している。

3 資料収集事業

区の伝統文化にかかわる資料を幅広く系統的に収集している。

4 施設貸出し

区民の文化活動の練習・発表の場として、多目的会議室、企画展示室、ギャラリー、展示用ボックス等の貸出しを行っている。

●生涯学習センター

昭和28年に練馬公民館として開館し、平成24年4月に名称を生涯学習センターと変更した。29年度には、生涯学習施設を生涯学習センター分館と向山庭園を合わせた3館体制とし、生涯学習センターを区の生涯学習の中核を担う施設とした。

地域活動を行う人材の基盤づくり、生涯学習を行う団体への支援、生涯学習に関する情報提供を中心とした事業を行っており、施設は区民の自主的な活動場所として利用されている。

1 地域活動を行う人材の基盤づくり

(1) 武蔵大学特別履修生制度

4月から翌年3月までの1年間、武蔵大学で大学生と一緒に授業を履修する制度である。ボランティア活動の経験者、「つながるカレッジねりま」または「練馬Enカレッジ」の受講生もしくは修了生を対象としている。履修料の一部を区と武蔵大学で負担する。7年度の履修生は21人だった。

2 生涯学習団体等の支援

(1) 生涯学習団体届出制度

芸術・文化、市民生活、社会教育、子育て、健康、福祉、レクリエーション、スポーツ等さまざまな分野で活動し、一定の要件を満たす団体を生涯学習団体として登録している。

団体の名簿を公開しており、新たな会員獲得による団体の活性化を支援している。7年度末現在、1,225団体が登録されている。

(2) 団体活動支援

区民文化祭、サークル文化祭、文化団体舞台発表促進事業等の文化活動団体の発表を支援するほか、趣味と仲間づくり講座「縁ジョイ倶楽部」を実施し、新たな会員募集の支援を行っている。

3 生涯学習情報の提供

(1) 区民発出前講座

さまざまな趣味や特技を持つ区民・団体に、講座の企画内容を登録してもらい、地域の団体・サークルに講師として紹介している。7年度末現在で、37講座が登録されている。

(2) 学びと文化の情報サイト（あ・そ・ぶサイト）

学びに関する団体情報や区内で開催されるさまざまな催し等の最新情報を、区民が活動したいときや学びたいときに、いつでも得られるよう情報提供している。

〔各種事業実施状況〕 7年度

事業名	実施状況	
縁ジョイ倶楽部	15講座 延べ556人受講 講演会1回126人受講	
盆踊り講習会	2回 延べ123人受講	
練馬児童合唱団	在団生 56人 定期演奏会 1回 761人入場	
サークル文化祭	舞台発表会	2日 延べ583人受講
	作品展	3日 延べ829人受講
区民文化祭	参加団体 18団体 8,391人参加	
寿大学通信講座	書道・俳句2科目 延べ4,434人受講	
	スクーリング 5回 延べ142人受講	
	書初め展 1回 書道108点 俳句180句 出品	
公開講座	4大学 延べ420人受講	

〔生涯学習センターの利用状況〕 7年度

	利用件数（件）	利用者数（人）
ホール	471	47,443
第一会議室	497	3,664
第二会議室	430	2,897
第一教室	719	10,917
第二教室	509	4,939
第三教室	575	5,719
和室（大）	612	4,788
和室（中）	496	3,777
和室（小）	544	2,747
美術工芸室	424	3,499
視聴覚室	651	9,070
調理実習室	109	1,057
陶芸室	133	364
保育室	278	1,318
合 計	6,448	102,199

〔生涯学習センター分館の利用状況〕 7年度

	利用件数（件）	利用者数（人）
講座室 1	321	3,020
講座室 2	290	1,766
講座室 3	416	2,461
講座室 4	420	3,115
講座室 5	409	4,988
講座室 6	425	2,379
講座室 7	246	1,799
講座室 8（※）	－	－
講座室 9（※）	－	－
和 室	85	447
料理室	12	79
工作室	326	2,651
美術室	375	3,010
音楽室 1	770	8,564
音楽室 2	628	3,981
陶芸室	642	2,232
保育室	9	87
合 計	5,374	40,579

注：学習室利用人数…6,464人
※：講座室8・9は区事業で利用のため、6年4月1日から貸出を
休止している

●向山庭園

庭園を有する和風の施設である。文芸・茶道・華道・囲碁などの活動場所としてだけでなく、会議や学習の会場としても、広く区民に親しまれている。

平成30年度からは、春に観桜会、秋に観楓会として、コンサート・茶会・いけ花の展示などのイベントを行っている。

管理運営は指定管理者が行い、年末年始を除く通年開園している。

〔向山庭園の利用状況〕 7年度

	利用件数（件）	利用者数（人）
茶 室	621	2,589
和室（第1）	660	2,611
和室（第2）	729	2,960
和室（第3）	534	3,439
多目的室	617	3,025
日本庭園	12	12
庭園見学者	－	55,482
計	3,173	70,118

●学校施設の地域開放推進

学校が地域の核として健全で豊かなコミュニティづくりの場となることを目指して、学校施設を開放している。

- ・校庭開放
- ・学校図書館開放
- ・教室開放
- ・学校体育館開放

●学校施設の一般利用

学校応援団や学校開放運営委員会による施設開放のほかに、学校への事前申請に基づき、区民が一般利用できる。

利用できる施設は、校庭、屋内運動場、教室などのほか、開進第二中学校と大泉中学校に設置しているセミナーハウスがある。

(2) 読書活動を支援する

【関連資料：「練馬区教育要覧」練馬区教育委員会】

●図書館

地域の情報拠点として、図書館資料の収集・貸出しをはじめ、行政情報や地域情報を発信するとともに、区民の読書活動の普及・啓発のため、さまざまな事業を実施している。

また、利用者が求めている資料を的確に探し出し、調査や学習を手助けするためのレファレンスサービスの充実を図っている。

さらに、4年11月に策定した「これからの図書館構想」により、図書館運営の基本理念を「世界につながる 彩り豊かな 知の情報拠点」とし、サービスの充実を図っている。

なお、貫井図書館の再整備については、7年9月に着工見送りを判断した。

1 施設の概要

(1) 図書館（12館）

光が丘、練馬、石神井、平和台、大泉、関町、貫井、稲荷山、小竹、南大泉、春日町、南田中

(2) 分室（1分室）

南大泉図書館分室（こどもと本のひろば）
乳幼児から小学校低学年までの子どもたちと、その保護者を対象としている。

(3) 図書館資料受取窓口（6所）

高野台（生涯学習センター分館内）、豊玉（豊

玉リサイクルセンター内）、石神井公園駅（西武池袋線高架下）、大泉学園駅（リズモ大泉学園4階）、北町（北町地区区民館内）、上石神井（上石神井南地域集会所内）に設置している。

予約した資料の受取と返却および利用登録ができる。また、資料の検索・予約ができる（高野台を除く。）。

2 利用の促進

「東京都公立図書館調査（7年度）」によると、図書館資料の個人貸出点数および、個人予約点数は23区中第1位となっている。

資料の閲覧や貸出しのほか、季節や社会情勢に沿ったテーマの資料を展示するなど、利用者の読書の幅が広がるよう工夫している。加えて、普段馴染みのない本にも興味を持ってもらうため、内容が分からないように本を包装した「本の福袋」の貸出しも行っている。

また、読んだ日、タイトルや感想などを自分で記入することにより、読書記録をつけることができる読書ノートを配布している。

このほか、図書館をより身近に感じてもらうため、生活や趣味に関連した講座や講演会、参加型イベント、バリアフリー映画会や音楽会なども開催し、一部をYouTube練馬区立図書館公式チャンネルで公開している。

3 子どもの読書活動の推進

子どもたちが本に親しみ、生涯にわたり読書習慣を身につけることができるよう「練馬区子ども読書活動推進計画（第五次）」を7年3月に策定した。これにより、発達段階に応じた読書環境を整えるため、さまざまな取組を進めている。

(1) 事業

- ・よみきかせ・おはなし会やおたのしみ会
- ・ブックスタート事業
赤ちゃんと保護者が絵本を介して触れ合えるよう、絵本を手渡す事業
7年度 3,380セット配付
- ・本の探検ラリー
クイズを解きながらさまざまな本と出会い、親しむことができる参加型イベント

(2) ボランティアとの連携

読書活動の担い手の育成に努め、関係団体との連携を図っている。

- ・ボランティアへの講習会の実施
- ・ボランティア団体との協働
- ・地域文庫の活動への助成
7年度 15団体 688冊

〔子どもの読書活動推進に関する催し実施状況〕 7年度

催し名	実施数	参加者数（人）
よみきかせ・おはなし会	1,087回	14,661
乳幼児・児童向け事業	204回	5,747
青少年向け事業	58回	1,086
保護者向け事業	43回	427
子ども読書の日・こどもの読書週間記念行事	24回	875
本の探検ラリー （小・中学校開催）	延べ42校	4,712

4 学校支援

小・中学校への団体貸出し、「ブックトーク」（テーマに沿ってさまざまなジャンルから本を紹介する事業）や「本の探検ラリー」、図書館見学・職場体験の受入れなどを実施し、子どもたちの読書活動を支援している。

- ・各校の学校図書館運営計画に基づく、学校図書館の図書選定の支援や蔵書管理
- ・調べ学習のための資料の提供

5 障害のある人へのサービス

全国の図書館などと連携して点字資料・録音資料の郵送貸出しを行うほか、ボランティアの協力を得て、本や雑誌の録音資料製作や対面朗読サービスを行っている。

また、外出が困難な区内在住の障害者等には、郵送で図書館資料を貸出すサービスを行っている。

そのほか、乳幼児や障害児向けの布の絵本の制作や、聴覚障害児も楽しめる手話つきおはなし会を行っている。

〔サービスの状況〕 7年度

項 目	点数等	
製作録音資料数	138点	
対面朗読実施時間	延べ 1,364時間	
外出困難障害者等資料郵送サービス貸出数	6,275点	
布の絵本制作数	39点	
講習会名	実施数（回）	参加者数（人）
音訳者養成等講習会	13	延べ 135
布の絵本制作講習会	4	延べ 39

6 図書館情報システム

図書館資料の貸出し・返却・予約などの基本的な業務を管理するシステムで、年間約620万点の資料貸出しに対応している。

また、利用者の利便性を高めるため資料検索機や家庭用パソコン・携帯電話等からの資料検索・予約サービス、Eメールによる予約資料の取置き通知サービス等を実施している。

〔予約状況〕 7年度

項 目	点数等
予約点数（個人）	2,155,207点
うちインターネットからの予約	1,915,183点
予約点数に占めるインターネット予約割合	88.9%

7 電子図書館

7年1月からオンラインで電子書籍の貸出や閲覧ができる「ねりま電子図書館」を開始した。電子図書館では、時間や場所の制限がないだけでなく、文字の拡大や、一部には文書読み上げ、色反転が可能な電子書籍があり、高齢者や障害がある人への読書機会の拡大が期待できる。

〔電子書籍導入状況〕 7年度

項 目	点数等
電子書籍コンテンツ数	5,272点
貸出回数	55,262回

〔図書館の利用状況等〕

7年度

館名	種別	個人利用 登録者数 (人)	団体利用 登録数 (団体)	来館者数 (人)	貸出数			貸出予約数		
					個人貸出 (点)	団体貸出 (点)	協力貸出 (点)	個人貸出 (点)	団体貸出 (点)	協力貸出 (点)
光が丘		38,067	187	609,894	977,037	12,518	3,193	277,439	99	1,787
練馬		24,599	158	411,821	547,129	11,168	406	195,875	2,451	442
石神井		21,677	100	302,418	566,157	16,964	1,001	124,916	2,130	1,050
平和台		13,904	151	226,442	440,712	13,824	526	132,067	2,030	557
大泉		13,959	144	259,189	412,610	15,664	628	108,691	7,304	643
関町		14,742	151	266,026	446,625	10,696	297	160,155	1,362	338
貫井		19,082	72	612,634	533,408	6,461	344	187,484	2,481	348
稲荷山		5,327	111	99,574	174,838	14,902	168	45,828	1,275	173
小竹		10,320	81	188,333	329,859	10,562	148	130,359	6,098	181
南大泉		7,886	83	175,891	321,786	3,988	108	93,662	1,905	112
南大泉分室		3,367	18	49,887	109,931	937	14	25,109	8	13
春日町		11,547	143	331,709	425,257	8,884	228	136,953	774	241
南田中		6,950	111	175,180	286,574	7,304	188	82,939	52	194
全館合計		191,427	1,510	3,708,998	5,571,923	133,872	7,249	1,701,477	27,969	6,079
高野台受取窓口		654	—	14,541	40,518	—	—	33,673	—	—
豊玉受取窓口		857	—	23,866	64,122	—	—	53,161	—	—
石神井公園駅受取窓口		3,461	—	76,201	182,722	—	—	152,881	—	—
大泉学園駅受取窓口		4,877	—	63,251	161,694	—	—	132,501	—	—
北町受取窓口		975	—	15,781	36,206	—	—	31,507	—	—
上石神井受取窓口		1,287	—	22,088	58,717	—	—	50,007	—	—
合 計		203,538	1,510	3,924,726	6,115,902	133,872	7,249	2,155,207	27,969	6,079

〔図書館の所蔵資料〕

7年度末現在

館名	種別	図書資料 (冊)	雑誌 (冊)	視聴覚資料 (組)	視覚障害 者用資料 (点)
光が丘		332,458	12,720	21,843	6,449
練馬		147,506	3,009	11,643	1,159
石神井		231,928	2,785	7,982	—
平和台		170,018	3,561	8,353	—
大泉		221,705	3,341	8,258	—
関町		158,239	6,356	7,179	—
貫井		133,045	4,169	6,212	—
稲荷山		91,975	3,265	4,470	—
小竹		85,779	2,272	7,835	—
南大泉		71,002	1,896	4,758	—
南大泉分室		27,036	234	—	—
春日町		115,829	2,638	9,099	—
南田中		104,720	2,260	6,105	—
合 計		1,891,240	48,506	103,737	7,608

(3) 文化財を保存・活用・継承する

●文化財保護の推進

区には、郷土の歴史や自然を伝える有形、無形の文化財が多数ある。

文化財を守るためには、区民一人ひとりの理解と認識を高めることが必要である。区は、かけがえのない文化財を保護・保存するとともに区民に紹介し、文化財に対する理解と認識の向上に努めている。

●文化財の指定・登録

昭和61年3月に制定された「練馬区文化財保護条例」に基づき、同年12月に学識経験者で構成された練馬区文化財保護審議会を設置している。

区指定・登録文化財は、区が事前調査を行い、文化財保護審議会の答申に基づき、所有者の同意を得て指定・登録される。(区内の指定・登録文化財については、巻末資料の240～241ページを参照)

●文化財保護のための主な事業

1 埋蔵文化財の調査・保存・活用

開発行為により、埋蔵文化財（遺跡）の破壊の危険があることから、区では、遺跡等の範囲の確認を行うとともに、その保護・保存に努めている。遺跡消滅の恐れがある場合は、事前に発掘調査等を実施し、記録保存の措置をとっている。

7年度は遺跡地で工事を行う届出が143件、通知が12件あり、遺跡の有無を確認するための試掘・立会調査が98件、発掘調査が4件あった。

出土品の一部は、生涯学習センター分館などに展示している。

2 東京文化財ウィーク参加事業

都の呼びかけによる「東京文化財ウィーク」は、国・都指定文化財の公開を促進する期間である。7年度は10月25日から11月3日までの10日間を中心に、つぎの企画事業を行った。

- ・尾崎遺跡^{おさき}の展示説明会（11月1日 14人参加）

また、石神井公園ふるさと文化館で、つぎの企画事業を行った。

- ・石神井城跡発掘パネル展（11月1日～11月3日）
- ・特別公開「小野蘭山墓誌」（10月25日～11月3日）

3 刊行物の発行

7年度はつぎの刊行物を発行した。

- ・ねりまの文化財（年3回）
- ・埋蔵文化財調査報告40 令和6年度（2024年度）

4 文化財説明板、道標の設置

身近な文化財に対する区民の理解を深めるため、説明板などの設置を行っている。総数は179件で、7年度は既に設置された説明板の修繕2件を実施した。また、道標は29か所に設置している。

5 文化財防火デー

昭和24年1月26日、法隆寺金堂壁画が焼損したことをきっかけとして、毎年この日を中心に全国的に文化財防火運動が行われている。

区では、各消防署と連携しながら、文化財愛護のPRに努めている。7年度は道場寺で一斉放水等の訓練を行った。

6 郷土芸能ねりま座公演

区内で継承されている民俗芸能の普及・発展のために公演を開催している。7年度は8年3月8日に開催し、祭囃子連が4団体出演した。

●文化財保護推進員

文化財の現況を把握し、区民に文化財保護思想の普及・啓発を図るため、昭和63年2月に文化財保護推進員制度を設けた。

文化財の所有者をはじめ多くの区民の協力のもとに、文化財の保護・保存を行っている。

^{おさき}●尾崎遺跡資料展示室

春日小学校建設の際に調査した「尾崎遺跡」の資料展示室を、昭和58年、同小学校内に開設し、出土品約200点を展示している。

(4) 区民のスポーツ活動を支援する

●スポーツ施設の整備

区民のスポーツ活動参加を促進するため、区ではスポーツ施設の整備を進めている。

7年度は、夏の雲公園庭球場照明LED化工事、北大泉野球場場外球防止ネット設置工事等を行った。

7年度末現在、区のスポーツ施設は、体育館7館、プール7か所、成人野球場5面、少年野球場5面、庭球場29面、多目的運動場6面（※）、競技場1面、多目的広場4か所である。

※：石神井松の風文化公園多目的広場を含む。

●スポーツの機会の充実

区のスポーツ施設では、地域のスポーツ団体をはじめ、区民の活発なスポーツ活動が行われている。こうしたスポーツ団体等との協働により、区民スポーツ大会、練馬こぼしハーフマラソンといったイベントや初心者スポーツ教室などを実施している。

〔屋外施設の利用状況〕

7年度

区 分	施設名（面）	利用数（人）
庭球場	豊玉中公園庭球場	23,941
	びくに公園庭球場	5,019
	土支田庭球場	37,269
	夏の雲公園庭球場（※1）	40,784
	大泉さくら運動公園庭球場	20,652
	大泉学園町希望が丘公園庭球場	24,578
	石神井松の風文化公園庭球場	58,580
成人 野球場	学田公園野球場	11,628
	北大泉野球場（※2）	9,305
	東台野球場	19,136
少年 野球場	練馬総合運動場少年野球場	23,530
	荒川河川敷野球場（硬式少年野球）	36,178
運動場等	練馬総合運動場公園（陸上競技場・多目的広場）	76,282
	大泉運動場	43,654
	夏の雲公園多目的広場	—
	大泉さくら運動公園多目的運動場	96,156
	大泉学園町希望が丘公園多目的運動場	55,462
	石神井松の風文化公園多目的広場	38,774
	びくに公園多目的広場	—
	総合体育館東側多目的広場	—

※1：夏の雲公園庭球場は、工事のため8年1月13日から26日まで休場

※2：北大泉野球場は、工事のため7年12月1日から8年3月19日まで休場

〔体育館の利用状況〕

(単位：人) 7年度

施設名 区分	総合体育館	桜台体育館	上石神井体育館	平和台体育館	大泉学園町 体育館	光が丘体育館	中村南スポーツ 交流センター
個人利用	38,155	9,277	47,203	51,653	42,571	(※2)31,273	31,224
登録団体利用	38,336	22,455	26,258	21,366	15,977	18,658	15,289
連盟・SSC	26,654	2,901	9,501	25,079	14,314	23,988	21,439
大会・事業等	18,564	6,695	6,512	9,351	3,077	18,722	912
自主事業	—	—	6,887	3,531	9,092	11,760	32,175
健康体力相談等	—	—	—	—	—	223	—
トレーニング室(※1)	33,312	—	40,877	26,736	45,078	62,657	51,923
合 計	155,021	41,328	137,238	137,716	130,109	167,281	152,962

※1：トレーニング室には説明会参加者を含む。

※2：光が丘体育館の個人利用には屋内ランニングコース利用者を含む。

〔プールの利用状況〕

(単位：人) 7年度

施設名 区分	上石神井体育館 温水プール	平和台体育館 温水プール (※)	大泉学園町 体育館温水 プール	光が丘体育館 温水プール	中村南スポーツ 交流センター 温水プール	三原台 温水プール	石神井プール
個人利用	68,713	55,700	54,701	122,108	121,694	69,985	46,377
登録団体利用	6,235	2,002	4,598	5,926	2,909	13,135	—
連盟・SSC	2,328	4,297	9,855	1,313	16,272	4,432	—
大会・事業等	1,725	72	651	3,605	559	742	—
自主事業	3,750	3,504	—	1,275	6,454	4,385	—
障害者専用コース	883	369	1,523	1,117	723	797	—
合 計	83,634	65,944	71,328	135,344	148,611	93,476	46,377

※：平和台体育館温水プールは、工事のため7年7月15日から10月3日まで休場

〔スポーツ事業〕 7年度

区 分		内容および参加人数（人）	
各種大会	区民スポーツ大会	35種目	17,963
		総合開会式	490
	東京都スポーツ大会	29種目	450
	スポーツフェスティバル 東京	13種目	177
	城北地区競技会	5種目	202
	都民スポレクふれあい大会	3種目	36
	城西ブロックスポーツ交流大会	5種目	226
	練馬区ポッチャ交流大会 2025	リーグ戦 9月24日 トーナメント戦 10月22日 光が丘体育館	147 80
	ポッチャねりまカップ 2025	リーグ戦 12月14日 トーナメント戦 1月25日 光が丘体育館	48 40
野外活動	区民歩行会	1月31日 大磯町	27
	親子アウトドア体験	9月28日 光が丘公園	31
初心者スポーツ教室		31種目72教室	4,524
夏休み水泳教室		3館	124
スポーツ・レクリエーション教室		6月22日、7月13日 大泉特別支援学校、 大泉学園町体育館	58
ねりっこダンス教室		谷原	83
		平和台	28
少年少女スポーツふれあいひろば		2月14日実施	52
スポーツの日記念行事		10月13日実施 光が丘体育館ほか6会場	10,744

●地域スポーツ指導者等の育成

スポーツ実施率を更に高めるため、多様なスポーツへの要望に応じられるよう、質の高い指導者等の育成に努めている。

1 スポーツ推進委員

区内でのスポーツ推進のため、スポーツ事業の実施に係る連絡調整やスポーツに関する指導と助言等を行っている。7年度末現在、17人のスポーツ推進委員が活動している。

区民歩行会や小学生を対象としたアウトドア事業など、さまざまなイベントの実施を通して、区民にスポーツをする楽しさを伝え、参加へつなげている。また、区内スポーツ関係団体が連携して実施するスポーツイベントの連絡調整および運営や、パラスポーツに係る取組も行っている。

2 スポーツリーダー養成講習会

スポーツリーダー養成講習会を開き、修了者に対して認定を行っている。7年度末現在、454人が認定を受けている。

●総合型地域スポーツクラブ

総合型地域スポーツクラブ（SSC）は、地域の人々を中心となって運営し、子どもから高齢者まで幅広い年齢層が交流できる点に特色がある。

7年度末現在、7つのクラブが区立体育館に活動拠点を設け、会員制による運営を行っている。

〔総合型地域スポーツクラブ（SSC）〕 7年度

クラブ名 （通称名）	設立年月日	主催・共催 事業参加者数 （人）
NPO法人SSC谷原アルファ（SSC谷原）	平成14年8月24日	20,186
NPO法人スポーツコミュニティー桜（SSC桜台）	平成14年9月5日	5,081
NPO法人スポーツクラブホワイエ上石神井（SSC上石神井）	平成14年12月17日	11,232
NPO法人総合型地域スポーツクラブ平和台（SSC平和台）	平成14年10月4日	23,285
NPO法人光が丘総合型地域スポーツ・レクリエーションクラブ（SSC光が丘）	平成14年9月10日	12,118
NPO法人コミュニティネットSSC大泉（SSC大泉）	平成14年8月13日	42,580
NPO法人豊玉・中村地域スポーツクラブクラブブラッツ（SSC豊玉・中村）	平成21年2月21日	20,688

●練馬こぶしハーフマラソン

区民の健康・体力の更なる増進と地域スポーツの振興、練馬の魅力の発信を目的として、平成26年度から30年度まで毎年開催していたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、元年度から3年度まで開催を中止した。4年度から再開し、7年度は第9回大会として、「練馬こぶしハーフマラソン2026」を8年3月22日に開催した。

満開のこぶしや桜を楽しみながら幹線道路を走行できるコースや、沿道からの途切れない応援が大会の特色であり、参加者から高い評価を得ている。



〔練馬こぶしハーフマラソン ロゴ〕
区の木である「こぶし」の花がデザインされている。

〔開催状況〕

ハーフマラソン種目

	開催日	開催時 天気	エントリー 数	当日 出走者数	完走者数 (完走率)
第5回	31.3.24	晴	5,433人	4,764人	4,512人 (94.7%)
第6回	5.3.26	雨	5,442人	4,361人	4,182人 (95.9%)
第7回	6.3.24	曇り	5,317人	4,672人	4,554人 (97.5%)
第8回	7.3.23	晴	5,337人	4,734人	4,507人 (95.2%)
第9回	8.3.22	晴	5,412人	4,812人	4,632人 (96.3%)

マイルラン種目

	エントリー数		当日出走者数	
	中学生 の部(※)	小学生と ペアの部	中学生 の部(※)	小学生と ペアの部
第5回	58人	342組 684人	53人	303組 606人
第6回	—	445組 890人	—	328組 656人
第7回	—	379組 758人	—	349組 698人
第8回	—	447組 894人	—	408組 816人
第9回	—	437組 874人	—	403組 806人

※：第6回から中学生の部は廃止

京2025デフリンピックパネル展」では、デフリンピックやデフ日本代表選手の紹介、デフリンピック缶バッジの配布を行った。

●デフリンピック開催に合わせた機運醸成の取組

7年11月に「第25回夏季デフリンピック競技大会 東京2025」が開催されたため、7年度は大会への興味・関心を深めてもらえるような取組を行った。

4月の「照姫まつり」や10月の「練馬まつり」では、区ゆかりのデフ日本代表選手が出演している「練馬区障害者の意思疎通の促進と手話言語の普及に関する条例」の動画を放映し、条例の普及啓発やデフリンピックの紹介を行った。

10月の「ねりまスポーツひろば」（練馬まつり同時開催事業）および同日夜に開催した「ねりまランタンナイト」では、区内在住のデフ卓球女子日本代表選手を招き、トークショー、デモンストレーションの実施および区長とともにセレモニーに登壇し、デフリンピック開催のPRを行った。

スポーツ情報誌「ねりすば」第29号（10月発行）では、デフリンピックに関する記事を掲載し、区ゆかりのデフアスリートを紹介した。

11月の「ねりすばフェスティバル」では、区ゆかりのデフサッカー男子日本代表選手を招き、トークショーやデフサッカー体験教室を行った。また、「東